



いっしょにエコ日記

ティーチャーズガイド

STEP
1 版

STEP1は 社会科の単元「水はどこから」と連動 (東京書籍)

導入授業
(1時限)

節水チャレンジ
(2週間)

ふりかえり
(1時限または
学級活動などで実施)

／ クラスのみんなで身近な節水にチャレンジし
／ 節水の大切さをひろめよう！

STEP2 ひろめる活動に取り組む場合は、
【ティーチャーズガイド STEP2版】
をダウンロードください

.....
私たち花王は、子どもたちができる身近な節水を、
.....
おうちや学校で楽しみながら身につけて、
.....
社会の一員として豊かに育ってほしいと願っています。
.....

花王株式会社

いっしょにエコ日記は社会科の「水はどこから」の 単元と連動する<水>をテーマにしたプログラムです。

STEP1 プログラム (本書P.2～10)

授業での学びと家庭での節水実践活動を通して、
水を大切にする習慣を身につけます。



STEP1終了後、総合的な学習などで発展的な実践活動をされる場合、
STEP2をご活用ください。

STEP2 プログラム (本書P.11～31)

各校の状況に応じた取り組みで、節水の大切さをひろめます。



次年度に、次の4年生(現3年生)がプログラムを実施される場合におすすめします。

授業で節水の大切さを学んだうえで、家庭で節水を実践し、取り組みの成果をクラスで共有することで、自ら行動する力、継続する力を身につけます。

導入授業

	学 習 活 動	参 考 詳 細
導入 (10分)	●既習内容のふりかえり ●本時のめあての確認	進 行 詳 細 → 本書 P.3~ できることシート → 本書 P.5
展開① (10分)	●DVDの視聴〈ミッションビデオレター〉  【DVDのねらい】 ・企業の水を大切にする工夫を知る。 ・節水のためには小さなことでも毎日の生活で続けることが大切であることに気づく。 ・節水活動へ取り組む意欲をもつ。	
展開② (20分)	●クラス単位、グループ単位での思考活動 ●ワークブック「いっしょにエコ日記」の配付 ●「節水チャレンジ宣言」への記入 ●「いっしょにエコ日記」のつけ方の確認	
まとめ (5分)	●導入授業のまとめ	

(家庭で2週間程度実施)

節水チャレンジ

- おうちを回って節水ラベルをつける
- 節水したら色をぬり、日にちを記入



ふりかえり

- チャレンジしてみて気づいたこと・感想の発表
…実践したこと、自分やおうちの人の感想など
- 節水した結果を計算
…グループやクラス全体で何リットルになるか合計する

進 行 詳 細 → 本書 P.8

節水量を報告しよう!!

節水量報告書にクラスごとの合計節水量を記入
→花王「次世代育成事務局」へFAXにて送付

節水チャレンジ! 教材提供型プログラム

いっしょにエコ日記



ワークブックや「できることシート」に記載の節水量はおおよその目安です。
詳しくはウェブサイトをご確認ください。

いっしょにエコ日記

検 索

導入授業

1時限

水を大切に使うためにできることを考えよう

本授業のねらい

- 水を大切にするための企業の工夫を知り、自分にできることを考える
- 水を大切に使うために、毎日の暮らしの中でできる節水の工夫を考える

※授業開始時にはワークブックを配付しないでください(展開②-1終了後にワークブックを配付してください)。※時間は目安、自由にアレンジ可能です。

時間	流れ
導入 (10分)	水の大切さを確認する 1. 既習内容をふりかえる ・4年生「水」の単元(「水はどこから」、「くらしをささえる水」)における学習内容をふりかえる。 ポイント ・毎日のくらしやさまざまな仕事で、水がたくさん使われていることを確認する。 ・水は限りある大切な資源であることを確認する。 ・いろいろなところで、水を大切に使うための工夫や努力がされていることを伝える。 2. 本時のめあてを確認する ・水を大切に使うための工夫を考え、授業後、実際に節水に取り組むことを伝える。
	水を大切にするための企業の工夫を知る 1. 花王からのミッションビデオレター(DVD)を視聴させる ①「花王」から、「水」について勉強をしているみんなに、お願いしたいことがあるそうなので、DVDを見てみよう と伝える。 ポイント ・花王はみんながおうちで使っているシャンプーやせっけんなどをつくっている会社と紹介する。 ・花王は水を使う製品をつくっている会社だからこそ、水を大切にする努力をしていると伝える。 ・みんなへのミッションが何かに注目して見るように伝える。 ②ミッションビデオレターを視聴させる(約4分)。      節水応援隊(花王ではたらく人とキャラクター)の紹介 花王の工場における、製品をつくる時の水を大切にしている努力 家庭で簡単に節水ができるように新しい洗剤を開発した 家庭での節水が簡単に実践できるための花王の研究への努力 ミッション(ワークブックを使用し、家庭での節水にチャレンジする)の提示 2. ミッションビデオレターの内容を確認する ポイント ・工場よりもおうちの方が水をたくさん使っており、わたしたち一人ひとりが節水に取り組む必要がある。 ・花王は水を使う製品をつくる会社だからこそ、みんながおうちで簡単に水を大切にできる方法を考えた。 <問いかけ例> ① おうちと工場では、どちらが水をたくさん使っているかな? ② 花王はおうちで簡単に節水できるように、どんな工夫をしていたかな? ③ みんなへのミッションは何だったかな?

時間	流れ
展開② (20分)	自分たちにできることを考える 1. さまざまな場面で水を使っていることを確認し、水を大切に使うためにはどんな工夫ができるかをグループで考えさせる ①おうちでは、どんな時に水を使っているかをクラス全体で考えさせる。 発問 ▶ おうちでは、どんな時に(水道)水を使っているのかな？ ＜考えられる児童の答え＞ お風呂、トイレ、洗濯、そうじ、水やり、料理 ポイント ・お風呂、トイレ、洗濯、炊事など家庭のさまざまな場面で水を使っており、水は生活になくてはならないことを確認する。 ②水を大切に使うためにできる工夫を、グループで考えさせる。 発問 ▶ 水を大切に使うためには、どんな工夫ができるかな？ ＜考えられる児童の答え＞ シャワーはこまめに止める、食器を洗う時は水を出しっぱなしにしない ポイント ・家庭では自分一人のできることと、家族といっしょにできることがあることを伝える。 ③グループで考えたことを、クラス全体で共有させる。 できることシート (→本書P.5) ポイント ・各グループの考えは、黒板に板書をし、自分たちのグループが考えつかなかった工夫は、メモをとるように伝える。 ・児童から新しい考えが出てこなかった場合は、本書P.5「できることシート」を参考に、具体的に何に気をつければ、どの程度の節水が可能かを確認する。
	2. ワークブック「いっしょにエコ日記」を配付する 3. 自分たちが挑戦する節水を決め、「節水チャレンジ宣言」に記入させる ①「いっしょにエコ日記」P.1に、自分たちが考えた水を大切にできる工夫と同じ節水内容がのっているかを探させる。 ワークブック P.1 ②自分たちが考えた水を大切にできる工夫や、「いっしょにエコ日記」P.1の節水内容の中からチャレンジしてみようと思うことを4つ決定させる。 ワークブック P.1 ③決定した項目を「節水チャレンジ宣言」に記入させる。 ワークブック P.2 4. 「いっしょにエコ日記」のつけ方を確認する ワークブック P.3～4
	導入授業 まとめ
	まとめ (5分) ●水を大切に使うために、企業の努力やみんなができることを学んできたが、一番大切なことは、毎日の生活で続けることである。 ●まずは、一人ひとりの取り組みがどれくらいの節水になるかチャレンジして確かめ、くらしの中でできる工夫を考えよう。

ワークブック
配付

自分で
できるくふう

流しっぱなし
だと
約6L

コップにくんで
歯みがきをすれば
約5L 節水

流しっぱなし
だと
約12L

水をためて
顔を洗えば
約6L 節水

流しっぱなし
だと
約10L

手洗い中に
水を止めれば
約8L 節水

流しっぱなし
だと
約36L

シャワーを
こまめに止めれば
約24L 節水

「すすぎ1回」で
洗たくをすれば
約15L 節水

「すすぎ2回」
だと
約60L

お風呂の残り湯を
洗たくに使用
約20L 節水

水道水だと
約60L

わかし直して
入浴すれば
約120L 節水

毎日、水を入
れると
約200L

ためすぎを
すれば
約41L 節水

流しっぱなし
だと
約60L

おうちのひと
でできるくふう

節水チャレンジ

10分
程度

「節水チャレンジ」に取り組もう

2週間の「節水チャレンジ」に取り組む直前に伝えていただくと効果的です。

本授業のねらい

- 世界の水環境を整えるための企業や団体の取り組みを知り、「節水チャレンジ」へのさらなる意欲につなげる。

■進行概要

時間

流れ

●「節水チャレンジ」に取り組むことを伝える

・翌日から「節水チャレンジ」をすることを伝える。

・チャレンジの後は、クラスの節水量の合計を計算し、花王に報告することを伝える。

●「節水チャレンジ」に取り組むことが、世界の水に恵まれない地域への支援につながることを伝える

・写真教材を提示しながら、世界には水に恵まれない地域があり、水環境を整えるためにさまざまな人たちが努力をしていることを伝える。

(写真教材は「花王 次世代育成」ウェブサイトよりダウンロードしてご活用ください)

写真教材

<写真教材概要>

		学習内容
1		世界には安全できれいな水に恵まれない地域があり、そのような地域では、家から遠く離れた場所まで水を汲みにいかなければならなかったり、衛生的な生活を送ることが難しかったりする。
2		水に困っている地域には、安全ではない水を飲んだり、料理に使ったりして、おなかを壊すなど、病気になってしまう子どもがいる。
3		水に恵まれない地域の水の環境を整えるために、その地域の人や世界中の国や会社、団体が努力をしている。
4		ベトナムの山間部や農村部も、安全できれいな水が不足している地域のうちの1つであり、「節水チャレンジ」をがんばることで、それらの地域のいくつかの学校に浄水器を設置することができる。

※日本の企業の活動や、ベトナムの山間部や農村部についての補足情報など、各写真教材についての詳細はウェブサイトでご確認ください。

●「節水チャレンジ」への意欲を高める

・「節水チャレンジ」は、水を大切に作る行動だけでなく、誰かの役に立つことも伝える。

ポイント

・「節水チャレンジ」での節水が、世界の水に恵まれない地域の一部への活動支援※1につながることをおさえる。

※1 子どもたちが安心した毎日を送れるように、花王は国連児童基金（ユニセフ）とパートナーシップを組み、ベトナム南部のAn Giang省と北部のDien Bien省において「学校衛生プロジェクト」に取り組んでいます。

We Support



世界の水事情への興味・関心を抱ききっかけとなり、発展学習につなげることができるよう、児童向けの調べ学習用ウェブサイトをご用意しています。



※実際の画面とは異なる場合があります。

掲載情報・学習テーマ例

- 安心・安全な水を手に入れることができない社会の問題
- 安心・安全な水を手に入れない地域の人々
- 安心・安全な水が手に入ったら、人々の生活はどのように変わるか
- 水と健康とのつながりについて
- 「水」について学べるリンク集

など

ウェブサイトでは、児童の疑問に答える形で、会話調でわかりやすく解説し、水環境に関する課題を自分のこととして落とし込んで考えることができます。



STEP1プログラム ヒント～節水チャレンジ～

● チャレンジ課題の実践事例

ワークブックP.5～7

チャレンジ課題に取り組んだ事例を紹介します。なかなか思いつかない児童へのヒントとしてご活用ください。

児童の記入例

雨水をためた水で、洗車をする。

20分間のホース洗車をバケツ5杯の洗車にして190リットルを節水

食器洗いの洗剤をつけすぎない。

少ない泡で水量をおさえることで5分間で30リットルの節水

トイレは大小レバーを使い分ける。

小レバーを使うことで一回6～10リットルの節水

● 子どもたちのチャレンジへの意欲を高める

「いっしょにエコ日記」ワークブックには、子どもたちが節水を意識し、意欲的に取り組める「節水ラベル」を用意しています。ぜひご活用ください。

節水しようと思うところに節水ラベルをつける！



自分が発見した節水の工夫もかいてチャレンジ！

※「節水ラベル」は、「花王 次世代育成」ウェブサイトからダウンロードできます。

「ふりかえり」は教科の授業時間や学級活動などで実施ください。

ふりかえり

実施時間は
取り組みに
応じて設定

「節水チャレンジ」をふりかえろう

本授業のねらい

- 節水にチャレンジした結果をクラス全体で共有し、節水の効果を数値化することで、小さな積み重ねによる大きな成果を実感する

時間	流れ
導入	● 本時のめあてを確認する
展開	「節水チャレンジ」をふりかえろう! ● チャレンジをしてみて気づいたこと・感想を発表させる ・何人かの児童に自分で考えて取り組んだことや、実践してみた自分の感想・おうちの人からのメッセージを発表させる。 ワークブック P.11 ● 一人ひとりがチャレンジできたことを共有させる ・個人で取り組んだ項目と、節水できた量を、何人かに発表させる。ワークブック P.5～10 ポイント ・「節水量」も大切だが、それぞれに一生懸命取り組めたことが最も大切であることを伝える。 ● クラス全体で節水した結果を発表させる ・グループに分かれ、グループのメンバーがどれだけ節水できたか合計し、グループで節水できた量を発表させる。全部のグループが発表したら、クラス全体で何リットルになるかを計算する。ワークブック P.12 ・クラス全体の節水量は、ペットボトル何本分になるのか、またそれは一人あたり何年分の本数に相当するのかを換算し、節水の成果を実感させる。ワークブック P.12 節水量換算シート (→本書P.9) 換算のステップ ①. クラスの合計節水量は500mlペットボトル何本分かを計算する。 $(\text{合計節水量}) \div 0.5 = (\text{ペットボトル本数})$ ②. ①のペットボトルの本数をクラスみんなで分けると一人何本分かを計算する。 $(\text{ペットボトル本数}) \div \text{クラスの数} = \text{一人あたりの本数}$ ③. ②の本数は、一日1本ずつ飲んだ場合、何年分になるかを計算する。 $\text{一人あたりの本数} \div 365(1\text{年の日数}) = \text{一人あたり()年分}$ ポイント ・節水量を身の回りの物に換算し、その量の多さをイメージさせることで、節水の成果を実感させる。 ・合計節水量を換算する時は、児童用ワークブックP.12に掲載の式をもとに計算したり、本書P.9「節水量換算シート」を黒板に提示をしたりして、節水の成果を実感させる。 ・500mlのペットボトルを用意し、児童に提示すると、節水量をイメージしやすくなり、節水の成果をより効果的にイメージさせることができる。 ・クラス全体の節水量を計算してみて、どのように思ったか感想を聞く。 ポイント ・一人ひとりの小さな行動が、大きな効果になることを伝え、実感させる。
まとめ	ふりかえり まとめ 一人ひとりの小さな行動が、大きな成果になることを確認し、毎日の生活の中でみんなが当たり前のこととして「続けられるようになる」ことが大切である。

● みんなの合計節水量 L は

ペットボトル (500ml) 本分

● フラスのみんなで分けると、
1人あたり 本



1日1本飲むとすると、1人あたり

年

分の節水になるよ



節水量を報告しよう!!

花王「次世代育成事務局」に、クラスごとの合計節水量を
FAXにてお送りください。

「節水量報告書」

「ふりかえり授業」終了後、2週間以内に
クラスごとの合計節水量を記入の上、FAXにてお送りください。
【最終期限：10月第1金曜日】

学年	クラス	合計節水量
1年	1組	
2年	2組	
3年	3組	
4年	4組	
5年	5組	

花王「次世代育成事務局」
FAX : 050-3730-3586

2～3週間ほどで、花王よりクラス別のレターを
お届けします。ぜひレターを使って、児童の節水活動継続
のモチベーションにつなげてください。

「節水チャレンジ」でのクラスごとの合計節水量をご報告いただきましたら、
ご報告後2～3週間ほどで、花王よりレターが学校に届きます。

最終期限 10月第1金曜日

※学年単位で1枚ご提出ください。

節水量報告書は、
ウェブサイトからも
ダウンロードをして
いただけます。

節水チャレンジ! 教材提供型プログラム

いっしょにエコ日記



いっしょにエコ日記

検索



節水活動への継続意欲を高めるヒント

レターの活用

レターには、児童の節水活動に よって、
浄水器の設置が予定されている地域の子どもたちの写真が掲載されています。

校長先生から表彰

レターを全校朝礼等で校長先生に読んでもらい、自分たちが
がんばったことを表彰してもらうことで、自分たちの節水活動が
誇りとなり、継続的な活動へのモチベーションにつながります。

お家の人にも報告

レターをクラスで読んだ後、コピーを配付することで、お家の人
ともいっしょに読むことができます。家庭において、節水活動の
継続を話し合うきっかけになり、家庭での節水活動の意欲向上
につながります。



